

第2号様式（第3関係）

令和6年度第1回豊山町生涯学習推進審議会 議事録

1 開催日時

令和6年9月27日（金） 午後2時～4時

2 開催場所

豊山町役場3階 会議室3、4

3 出席者

(1) 豊山町生涯学習推進審議会委員 11名

学識経験者	前田 治	(会長)
学識経験者	上原 直人	
教育関係者	篠田 弘男	
教育関係者	小出 芳子	
教育関係者	高山 誠	
教育関係者	渡邊 登美子	
教育関係者	伊藤 章代	
関係町民団体代表者	永末 猛	
関係町民団体代表者	浅井 恵子	
ボランティア代表者	縄田 敦子	
一般公募	竹内 智恵子	

(2) 事務局 7名

町長	鈴木 邦尚
教育長	北川 昌宏
教育委員会事務局長	安藤 憲司
教育参事	山中 洋子
生涯学習課長	栗山 直樹
教育専門員	渡邊 亘宏
生涯学習課生涯学習グループ長	大下 収悟
生涯学習課生涯学習グループ主事	浅野 圭祐

4 議題等

議題

- (1) 【諮問事項】 部活動の地域移行について⑥
- (2) 「学びの循環」による人とまちづくりについて
- (3) 令和7年度の総合型地域スポーツ・文化クラブの企画・運営について
- (4) 令和5年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の報告について
- (5) 令和6年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の進捗状況について

報告

- (1) 愛知駅伝の新たな取り組みについて
- (2) コミュニティスクールについて

5 会議資料

令和6年度第1回豊山町生涯学習推進審議会

第2号様式（第3関係）

6 議事内容

事務局長	はじめに、鈴木町長よりご挨拶申し上げます。
町長	<p>皆さん、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。また、この度は委員に就任いただき改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>生涯学習とは少し離れたところからのお話になるかも知りませんが、最近の当面における大変なこと、いわゆる気候変動が起きている件についてお話したいと思います。2021年にアメリカが世界各国を対象に、「気候変動に対して何らかの行動を起こしますか」というアンケート調査をしたところ、ヨーロッパや韓国では何らかの取り組みをしたいという方が大体80%を超えている中、残念ながら日本は70%を切るほど圧倒的に低い認識となっています。また、社会的に取り組むべき課題として韓国の若者の60%が「気候変動」を挙げている中で日本は30%という状況をみると日本人は状況把握や課題認識が低いのではないかと思います。</p> <p>つまり何が言いたいかと言いますと、豊山町の住民が生涯学習で学んでいることを通じて、課題意識を持って、豊山町の未来のためにどういう行動をしたらいいかということを考えていけたら良いと思いお話をさせていただきました。</p> <p>本日は様々な事業について報告させていただきますけども、もっとこうすればよいのではという幅広い視点からご示唆いただければ大変ありがたいと思っています。</p> <p>今後、2年間様々な場面で皆様にはご協力やご提言いただく事となりますが、よろしくお願い申し上げますとさせていただきます。よろしくお願いたします。</p>
事務局長	<p>続きまして「会長および副会長の選出」を行います。</p> <p>豊山町生涯学習推進協議会条例第6条第1項に規定により、委員の互選で選出をお願いいたします。どなたかご推薦はございませんでしょうか。</p>
委員	昨年度までこの審議会の会長を務められた前田委員に会長をお願いできればと思います。副会長には昨年度まで副会長をされていましたが堀田委員が適任かと思います。
事務局長	ただいま会長には前田委員、副会長には堀田委員が推薦されましたが皆さんいかがでしょうか。よろしければ拍手でご承認をいただければと思います。
委員	(拍手)
会長	それでは、議題(1)「【諮問事項】部活動の地域移行について⑥」について事務局より説明を願います。
教育参事	会議資料(P1～2)に基づき説明

教育長	<p>今後の見通し等につきましては、先ほど教育参事が申し上げたとおりであります。基本はこれまで委員の皆様にご審議いただいた中間まとめを受けて、さらに個別具体的な実務レベルの課題について整理してみようというのが、このプロジェクトチームの大きな目的であります。</p> <p>今さら申し上げるまでもないことですが全国の市町村がこの課題に対して大変な困難に直面をしております。施設の問題、指導者の問題、財源の問題等々が国からの明確な確証もない中で、提言はあったものの各市町村が実態は戸惑っている中で、できることから順番にやっっていこうということで息の長い取り組みになると思います。ここでもう一度中間まとめを受けて、具体的な詰めをしていこうというのがこのプロジェクトチームの趣旨であります。一つご理解いただきたいのは、部活動は中学校の学習指導要領にも明記されていますが、文科省は初等中等教育局というところが扱っておりまして、それを県では主に義務教育課というところで扱っております。そして、受け皿となる市町村では学校教育課等々、学校教育に従事するところが受け皿になっています。</p> <p>ところが、部活動の地域移行という言葉が入った途端に、国ではスポーツ庁や文化庁から通知が発出され、その受け皿となる都道府県は、生涯学習を担当する担当課が受けています。ここに一つのねじれがある。さらにそれを受ける市町村になりますと、生涯学習課であるとか場合によっては学校教育課で受ける等、それぞれの市町村の実情によって肝心の現場に近いところでも、ねじれた状況になっており、それが今の全国の実態です。その中で我々が今後対応していくことについて、これまで生涯学習課を中心にこの生涯学習推進審議会で審議をしていただきましたが、個別具体的な実務的なことをより詰めて進めていくためには、学校教育課、学校現場、これも踏まえて生涯学習課だけではなく、教育委員会全体で取り組んでいくべき課題だというふうに捉えて、今回のプロジェクトチームを立ち上げてみたいと思っております。</p> <p>この中に保護者だとか、子どもたちが入っていないじゃないかという話もあるかもしれませんが、それはそれでまたアンケートとか聞き取りとかということをやりながら、一度立ち止まって、中間まとめを整理してみたいということでございます。</p> <p>その上でまたこの審議会で揉んでいただいて、最終まとめに到達したいと、このような考え方を持っております。</p> <p>いずれにしても教育委員会一丸となって取り組まなければな</p>
-----	--

第2号様式（第3関係）

	らない課題だと認識しておりますので、よろしくお願ひいたします。
会長	ただいま事務局から説明がありました、ご意見・ご質問を等ございましたらお願ひします。
委員	<p>プロジェクトチームという話をお聞きして、今後はこのプロジェクトチームのメンバーで詰めていく話になると思いますが、我々が今まで議論した情報提供がどうなるのかとか、我々は今後、これについて何をやればいいのか等が一番の課題だと思っておりますから、その辺りの説明が欲しいと思ひます。</p> <p>また、プロジェクトチームは例えば何をやるのかとか、その中でどれだけ審議会に情報提供してくれるのかということをお聞きしたいと思ひます。</p> <p>我々の中でも少しぐらい議論に参加させて欲しいなという気持ちもあひますので、その辺をご説明いただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>
教育参事	<p>プロジェクトチームの中で話し合せていただいたことをこの生涯学習推進審議会です時、どんな話し合いになったか、どこまで進んでいるのか、どういふことに困っているのか、そういふところを審議会でお話をさせていたひきたいと思ひておひます。</p> <p>プロジェクトチームは年に3回ぐらい、学期に1回ずつぐらいは少なくともやれると良いと思ひておひます。</p>
事務局	先程の随時というのは、審議会を開催する度にプロジェクトチームの検討内容をお伝えするわけではなく、必要に応じてお伝えするという意味で考えているという事です。
委員	少なくとも審議会の時には何か新しい話が出てくるとよろしいですね。
委員	<p>いくつか確認がござひます。</p> <p>まず2年間色々な方の意見をいただひて結構深く議論は出来たと思ひます。しかし、解決はしなかつたため、さらにプロジェクトチームで具体的に深く議論するという説明は、結構曖昧な説明で、どういふプロジェクトなのかわからなひ。「具体的にはこういふところに予算をつける」とか、元々教育長が仰っていた「土日を移行する」といふことがどうなったのかの説明があひません。</p> <p>中間まとめに沿って色々な議論をするという前に、簡単に言ひと、「中学校が部活動をどうするか」といふのが、今、中学校に多分判断が委ねられていて、教育委員会とか生涯学習課ではなく、中学校が「もう来年からやめるんだ」とか、「土日やらなひ</p>

	<p>んだ」とか、それがまずなければどういった議論ができるのでしょうかというものが正直なところです。</p> <p>それから、令和6年3月28日に中間まとめを出している中で、なぜ令和7年にならないと議論できないのか。働き方改革というのはもちろん国が掲げたものなので、それはもう絶対やらないといけないと思います。教員の方も、大変苦勞があると思います。国からの提言を待つと言われますが、国と地方では基本対等な関係なので、国が何を言っても、豊山町で何ができるかっていうことを考えていくべきです。中学校が部活動をどうしたいのか明確にならない限り、何のプロジェクトであって、どうやって進めるのですかという話になると思います。このプロジェクトチームには教育参事は入るのでしょうか。相談相手としてではなく、メンバーに入るべきだと思います。</p> <p>本来であれば、まず中学校はどうしていきたいのかというのを明確にすることが一番です。その後にプロジェクトがあれば、学校関係者だけではなくて、やはり保護者とか、色々な意見がないと多分個別具体的に深く議論を進めるというものにならないと思います。</p> <p>実は生涯学習課というのは、もう沢山プログラムを持っていて、ある意味で豊山町は地域移行を成し遂げているのではないかなと思います。そこに部活動を紐付けたら、さらにもっと良いものになるのではないかなと思っていたところ、話が変わって来ているので、そこに関しては申し訳ないですけども、抽象的だと思えますし、時間がかかりすぎると思えます。</p> <p>令和4年から取り組んでいるので早く子どもたちに対して「こうなるよ」ということも伝えたいし、教員の方々の働き改革という目的に繋がると思えます。そこは委員というよりは町民としてどうかと思いますので、これまでお伝えした点を明確にさせていただきたいです。</p>
<p>教育長</p>	<p>部活動というのは学習指導要領にも明記されているので、これを中学校としてどうかと言えばこれは廃止ということは直ちにできないのですが、まずは土日の部活動について休日の部活動のあり方について地域移行について考えようというのが、これが今の一番の中心の課題です。</p> <p>今取りかかっていますのは、子どもたちの居場所作りです。スポーツ少年団やウインドオーケストラを始め色々なものが今までの実績がありますので、土日の部活動の代替にはならないけれども、子どもが文化やスポーツに親しむ環境という受け皿が出来つつあります。</p>

もう一つ一番ここが難しいところではありますが、地域移行について、部活動は学校の所管だから、次は中学校がどうするかを考える番という発言があったと思いますが、そこが一番難しく、意見が噛み合わないところでして、部活動については確かに学校教育課なり学校の所管ですが、部活動の地域移行となると幅が広がります。受け皿をどうするのか、どこで行うのか、誰が指導者になるのか、そういった事を中学校側から一方的に言っても受け手と議論がかみ合わない子どもたちが犠牲になってしまいます。

例えば、中学校が野球を廃止しますよという方針を出したとします。野球をやってきた子どもたちはどこでやるのでしょうかと。これは我々が考えなければいけません。地域にクラブ活動があるところはその人たちが受け皿になる。それであるならば、すんなり行きますね。それは土日に限らずそのことについては生涯学習課なり、まちづくりの分野の行政がフォローしなければいけない部分です。

だから学校が一方的に部活動どうしますというだけじゃなくて、関係機関が連携をして、子どもファーストで子どもたちの文化・スポーツ活動をどうするのかということを考えなきゃいけない大きな問題があるのです。野球の例を挙げましたが、いくつかあるスポーツ競技のうちの例えば新体操、空手とか特定の分野について、全国大会やめましょうとあるいは東海大会やめましょうという動きが出てきたのですが、一方でこれまでどおりに全国大会をやるべきだとかもあり、中学校がこうしたいと言っただけでは結局子どもが犠牲になって、そのの難しさがあるので、できるところから一つずつ解決していきましょうということです。

中間まとめの時に色々書かせていただきましたけれども、あれはいわゆる総論みたいなものですから、個別具体的に実務的な議論をもっとしていかなければいけません。

例えば土日だけ地域移行するにしても、指導員をどんな手続きで、どんな募集をかけて、費用はどれくらいで、どこで働いてもらうかということを実現するための企画からやらないといけないわけです。その実務的な作業というのは審議会ではできないので実務レベルで一つずつチェックしていきたいと思います。

部活動そのものがおそらく日本の教育が始まって100年の歴史があります。その100年の歴史を今この2、3年で大転換しようという作業をしておりますが、いつも言うように施設から指導者から使用する備品から、それから各スポーツ競技団体、あるいは文化団体ごとに全部違っている。非常に複雑な網の目を一つず

第2号様式（第3関係）

	<p>つほぐして、中学校の子どもたちの部活動をどうあるべきかという結論づけていかなければいけない。これは大変な時間のかかる問題だということはちょっとご理解いただきたい。</p> <p>子どもさんのご不満も不安もごさいます。中学校時代は1回しかありませんので、できることからやっていきますから、そのために我々実務的なレベルで深く掘り下げてまた皆様方にご提案させていただきます。</p>
委員	<p>この2年間の審議会で教育長が仰られることは同じことが多く、今の質問でいきなり部活動をなくすと子どもが犠牲になると言いますけれども、例えばなくなるのであれば、何かサポートして犠牲にならないようにするという策になると思います。根本としてどうしていくべきかという、そこで大会というの一旦なしにして、豊山町としてどういう受け皿を用意するのかというところですし、今のところ土日のみ地域に移行するというところで審議をされたのですが、まずは、土日に部活動をやられるのですか。</p>
教育長	<p>まずは土日の部活動の地域移行という基本方針、基本姿勢は変わりません。</p>
委員	<p>だから中学校としてはやらないということですね。</p>
教育長	<p>やるかやらないではなくて、やれるものはやるし、移行する方向ということはあるんですが、白か黒かという話ではなく、これからしばらくはグレーゾーンという部分は、今言ったような事情があるので、残っていくだろうなということです。</p>
委員	<p>令和7年度からまたこのプロジェクトチームで年3回会議すると、予想ではまた年数かかると思いますが、その間の部活動はどうなるのですか。</p>
教育長	<p>令和7年度からこのプロジェクトチームを立ち上げますが、現に今もこうやって審議しておりますし、我々も日々、生涯学習課も学校関係者も部活動の地域移行については研究、検討しております。だから我々の思考が停止しているわけではありませんので、ご理解いただきたい。</p>
委員	<p>これからどうしていくのかというプロジェクトチームよりも具体的に今その受け皿を作ってそこにどう紐付けるかとか、今ある生涯学習のプログラムを部活動に関連させてワイドにどうさせていくのかというようなプロジェクトの方が、内容としていいと思いますし、それがあつた上で詰めていくというような形の方向性もあつてもいいのではないかと思います。</p>
教育長	<p>とにかく課題が課題だけに、その一つのやり方はなくて、いくつかの山に例えると、登山口があつて色々な関係者が目的に向かつていつ目的が完璧に達成するかわかりませんが、それぞれの立</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>場の人それぞれのところから一つ一つ対応していく。生涯学習課として、学校は学校として、この問題について考える。地域で活動している方もそれに向かって考える。土日のあり方について考えていくことでとにかく一つ一つやっ払いこうということで歩みを止めてはいけない。長い時間かかってこの課題は進んでいくものであろうと思っております。1年や2年で解決できる問題でもなくて一つ一つ確認し合って、進むべき課題かなというふうに理解しております。</p>
会長	<p>少し確認をさせていただきたいです。ここでは今、休日における部活動の地域移行について審議をしていることで良いですね。</p>
教育長	<p>はい。</p>
会長	<p>では、「地域移行はいつからスタートするのか」ということについて、ここで新しく見えた委員もみえるので、それはいつスタートするのでしょうか。部活動の地域移行をスタートするのなら、逆算していかないと、色々なことを決められないと思っております。だからいつスタートするのかということ、つまり地域移行の時期はもう決定をしていますか。</p>
教育長	<p>もうスタートしています。部活動の地域移行については審議を行い、受け皿も作り、休日のあり方についてももう既に学校では進めています。できる限り土日の大会の運営をやめてくださいますとか、それから先生方の土日の出勤も控えてくださいますとか、様々な工夫をしながら対策は進んでおります。</p>
会長	<p>それは分かっていますが、例えば他の市町ですと、令和7年9月からというふうに、明確にいつから移行しますという言葉が出ていますが、豊山町は出せないということですか。</p>
教育長	<p>不可能です。個別具体的に各種団体があり、色々な協議があつて、いつからスタートすることは、もう既に我々やっているのです。できるところからやっ払いいきましょうという根本的な広い概念のもとでは、もうこれはスタートしているのです。</p>
委員	<p>できるところはやっ払いこうと思ったらどっかで1回線を引かないといけないと思います。</p>
教育長	<p>この提言について国から話があつたときに、そのときにもう既にやれるものからやっ払いこうということでスタートしておりますから、この問題についてどこの時点から始めますかという議論の旨味はないと思います。</p>
委員	<p>ですが、例えば地域においても2年後に部活動を廃止するところも、もちろんありますよね。</p>
教育長	<p>それは土日の部活動のうち地域部活動のことですね。部活動をなくすということは学習指導要領の基準に反しますので、明確に</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>中学校の学習指導要領の総則に特別活動の一環としての部活動と書いてありますから、それをやらないってことについては地域の住民の方とか生徒にはっきりと説明する必要があります。それはまた難しい問題です。</p>
会長	<p>ゴールが決まっていないところの議論は難しいと思います。ゴールが決まっていないと、ここから土日の部活動については、教員は学校の職員という立場ではなくて、地域の指導者の一員として参加するのですよ、ここからはそうですよっていうのが何か線引きがしてないと、校長先生困らないですか。</p> <p>この部活動はもう移行していて、地域の人としてやっている、この部活動はまだ続いているから、部活動としてやっているって言って自分が校長だったら困るような気がするのですが、どうですか。</p>
委員	<p>その線引きはできないと考えております。現実的なことを申し上げますと、先ほどから出てくるような働き方改革とか色々なご意見等もありまして本当に以前に比べれば部活動をやってくれる教員が現実には減りつつあるのは事実でございます。そこを何とかしていきたいのですけれども、学校として考えることは、「部活動はどのような形にしても残していきたいな」と思い考えております。ただそのやり方についてはやっぱり色々考えていかなければいけないと思っております。</p> <p>野球、吹奏楽部、卓球、ソフトボールについて、スポーツ少年団やウインドオーケストラ等、地域の方に助けていただいております、本当にありがたく練習をしております。以上のような部活動は「地域連携」という形においては大変お世話になっております。今後とも部活動を存続していくためには、大きなものであると考えております。この「地域連携」というものを最終的に「地域移行」につながるのではないかと思います。</p> <p>ただ、制度化するにあたっては学校だけではとてもできません。地域の皆様、そして教育行政に携わる方々で色々検討していただいて、もちろん学校も入る中で進めていただきたいと考えております。以上、現状をお話させていただいてきました。</p> <p>なお、部活動はこれまでは全員参加制というような形をとっていましたが、部活動も希望入部制に前年度からしております。加入率としてはやはり減っておりますけれども、やりたいものがやりたいものを行っているというのが現状でございます。</p>
委員	<p>このプロジェクトチームの設置っていうのを拝見したときに一歩進んだなって思いました。</p> <p>生涯学習課でこの審議会をやっているのだけれども学校教育</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>課とか中学校との乖離を感じるころがあつてなかなか進まないのではないかなと思つていましたが、こうやって今回のプロジェクトチームが立ち上がるということで教育専門員の方を中心に具体的に進めていただけるのであれば何かすごく期待をしてここを拝見させていただきました。</p> <p>一つ注文をつけるとすれば、今年度もまだあと半年ある訳で、プロジェクトチームを推進させるための何かしら手を打っていただき、また次回この審議会でお話していただけるとありがたいなとは思いました。</p>
会長	<p>今までの話の中でいわゆる「プロジェクトチームが立ち上がるということ」そのプロジェクトチームについては、「令和7年ではなく、もっと早めてもいいのではないか」というご意見、それから「スタートの期限は特にここからということはない」ということの確認でよろしいですか</p>
教育長	<p>ここからということはありません。なお、答申の最終まとめについては「地域移行にはこうあってほしい」ということがおそらく最終まとめになると思います</p>
会長	<p>私は中間まとめに沿って、提示した課題に対する対応として、最終まとめでは「こうすべき」という点を提示していかなければいけないのと考えていましたが、そのような形での最終まとめということで確認を取りたいと思います。</p> <p>ちなみにプロジェクトチームの事務局について、先ほど学校教育課だとか色々話があつたのですが、これはどこが事務局なのでしょう。</p>
教育長	<p>まだ細部を詰めておりませんが、教育専門員を中心に協力し合つていこうかと思つております。</p> <p>ただ、誰が担当ですと言つたら教育専門員に窓口になってもらえばいいのですけれども、資料をどこが作るかという話になると、これまでの審議会のまとめについては生涯学習課から学校関係者、関係団体等へ説明しなければいけませんし、学校との橋渡し役はおそらく学校教育課でやらなければいけません。</p>
委員	<p>本当に深く議論を進めるのであれば、今後、プロジェクトチームが作成した資料は、決して抽象的でないものと私は期待しています。会議資料には、今後話し合う内容として、具体的な予算をどうするか書いていますけれども、そこまで詰めていただければ、民間の方や保護者の方、地域の方を入れていただくとよりいいのではないかなとは思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ではこの議題については、今後、資料2ページの「3今後の見</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>通し」が中心になってくると思いますが、これについては、具体的な資料作成を心掛けていただくなど、今回のご意見を吸い上げながら、プロジェクトチームを進めていただきたいなと思っています。</p> <p>それでは承認いただける方は拍手をお願いしたいと思っています。よろしいでしょうか。</p>
委員	(拍手)
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では続きまして、議題（2）「学びの循環」による人とまちづくりについて」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	会議資料（P3～5）に基づき説明
会長	<p>ただいま事務局から説明がありました議題に関して、何かご意見だとかありましたら、まだご意見を言ってない方、むしろ感想でも構わないので言っていただきたいなと思っています。</p>
委員	<p>4ページの黄色い図「小学生わくわくくらぶ」の箇所ですが、わくわくくらぶは中学生も対象でありまして、わくわくクラブは小学生のものというイメージを払拭していただけるとありがたいなと思っています。</p> <p>また、5ページの取組はとてもいいと思いますが、対象の子どもというのはどの年齢を想定していますか。</p>
事務局	<p>豊山町の構成割合を考えると小学生等を想定しています。未就学児から中学生までの構成割合が国や県に比べても高いことが分かっていますので、そういったところをターゲットにしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>4ページの学びの循環の図に吹奏楽と愛知駅伝の2つを挙げてらっしゃると思います。このモデルケースを活かして、前回の審議会でも意見として出た陶芸の先生の後継者問題等の仕組み作りをしていただければと思います。</p>
委員	<p>5ページの夏休みイベント例が5つあるのですが、今はやはり読書離れというのもあり、夏休みであれば読書感想文とかありますので、ぜひこういった内容があるといいかなと思いました。</p>
事務局	<p>読書感想文は、事務局でも講座案として挙がっておりましたので、また検討させていただきます。</p>
委員	<p>私も町で活動していて、自分がやりたいことがあっても子育て中の方は、そこに携わることがすごく難しかったりします。豊山町は他の市町村に比べたら人口の分母が小さいけれども、その中でも独身の頃に活躍してくれたお母さんも、色々技術を持っているお母さんもたくさんいらっしゃると思います。そういう方が地域移行や学びの循環で何か講座の先生やボランティアをやって</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>みたいになっていう人がいても、自分の子どもを見なければいけないという環境があるので、それをサポートするボランティアの人がいればいいと思います。</p> <p>自分の子どもたちも活動に参加すればいいという意見もありますが、興味がない子どもを無理やり連れてくのも違うかなと思います。</p> <p>ご年配の講師もいらっしゃると思いますが、子育てを終えた方とかもっと若い方がいてもいいのではないかなと私は思っています。若い講師の方が受講生と同世代でわかり合える部分もあり、新しい風が吹くのではないかなと私は思います。子育て世代の人がやろうとしたものをサポートするのにファミリーサポートセンターがありますが、お金がかかるという部分があり、何かその部分を支援できるともうちょっと新しく色々な人材が動けるようになんじゃないかなと思います。</p>
事務局	<p>質問なのですが、預け先という問題がクリアすればお手伝いいただける方が増える可能性は高いですか。</p>
委員	<p>土日のイベントやこの審議会などの予定がある場合は子どもをどうしようということが付いて回ります。なので、子育てのサポートがあると身軽に活動的に動けて、子どもも安心という環境があれば上手くいくのではないかなと思いますので、視点として取り入れていただければと思います。</p>
会長	<p>それでは、ただいま事務局から説明がありました。承認いただける方は拍手をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>（拍手）</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは議題（3）「令和7年度の総合型地域スポーツ・文化クラブの企画・運営について」について事務局より説明を願います。</p>
事務局	<p>会議資料（P6～7）に基づき説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが、この議題に関してのご意見、ご質問ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>わくわくくらぶで定員に達しているものは令和7年度で定員枠を引き上げるとかそういうのはお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>指導者の意向や指導者の数には限りがある中ではありますけど、できるだけ子どもたちの希望に沿ったという形でやりたいということでございますので、定員超えたところは指導者の方に伺いを立てまして、もうちょっと増やしていいよという事であれば定員を増やす可能性はあります。</p>
委員	<p>「生涯学習講座」と「わくわくくらぶ」の境界線ですが、元々</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>わくわくくらぶは土曜日の小学生の午前授業がなくなる際の居場所作りとして発足した経緯があると思いますが、対象を中学生や高校生まで広げたとすると「わくわくくらぶ」と「生涯学習講座」と分ける意味がもうあまりないような気がします。スポーツと文化で分けているわけでもないし、対象が中学生以上だとかで分けているわけでもなく、なぜここで区分けされているのだと思います。</p> <p>また、生きがいタウンについて、生涯学習講座は沢山のページを割いているのですが、わくわくくらぶは全部一覧表になっていて、誰を対象とするかも書いていなく、すごく残念な感じがしているところです。中学生や高校生まで対象広げたっていうのをすごく私は売りにしていると私は思っていたのですが、枠組みから考え直した方がいいのではないかなというように思います。</p>
事務局	<p>「生涯学習講座」と「わくわくくらぶ」は明確に分けないと事務処理上難しいところもございまして、分けさせていただいています。もう1点わくわくくらぶの一覧表につきましては、わくわくくらぶの内容を記載したプログラムを小学校、中学校に個別に配布し、周知させていただいているのですが、今後もわかりやすい形で掲載できたらと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では承認いただける方は拍手をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>（拍手）</p>
会長	<p>ありがとうございました。では議題（4）「令和5年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の報告について」について事務局より説明を願います。</p>
事務局	<p>会議資料（P8～9）に基づき説明</p>
会長	<p>ありがとうございます。何かご質問ご意見ありましたらお願いします。</p> <p><意見なし></p> <p>では承認いただける方は拍手をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>（拍手）</p>
会長	<p>ありがとうございました。では議題（5）「令和6年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の進捗状況について」について事務局より説明を願います。</p>
事務局	<p>会議資料（P10～13）に基づき説明</p>
会長	<p>ありがとうございます。何かご質問ご意見ありましたらお願いします。</p> <p><意見なし></p>

第2号様式（第3関係）

	では承認いただける方は拍手をお願いしたいと思います。
委員	（拍手）
会長	ありがとうございました。では報告（1）「愛知駅伝の新たな取り組みについて」について事務局より説明をお願いします。
事務局	会議資料（P14）に基づき説明
会長	ありがとうございます。何かご質問ご意見ありましたらお願いします。
委員	駅伝の推進も大切ですが、豊山グラウンドのナイターの予約が平等にできるよう配慮いただければと思います。
会長	ありがとうございます。では報告（2）「コミュニティスクールについて」について事務局より説明をお願いします。
教育専門員	会議資料（P15）に基づき説明
会長	ありがとうございます。何かご意見よろしいでしょうか。 <意見なし> それでは事務局の方をお願いいたします。
事務局長	会長、議事の進行ありがとうございました。本日は長時間にわたり、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。 これをもちまして、第1回豊山町生涯学習推進審議会を終了させていただきます。